

学校評価（自己評価の結果）

教育目標

多様な価値観が尊重される現代において、ビジネスにおける実用的な技能と高度な語学力を涵養し、国際社会で活躍するとともに、自国の発展に貢献できる人材の育成を目指す。

目指す教育

- ・ ビジネスの現場において即戦力となりうる人材の育成
- ・ 実務に直結する資格の取得
- ・ 国内外で活躍できるビジネスパーソンを養成

評価項目の達成及び取組（自己評価）

（適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1）

1 教育理念・目的・人材育成像

指 標	自己評価
理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色を理解しているか	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4

◆ 課題

現在の理念をより具現化していくための方策を考えなければならない。

◆ 今後の改善策

学生の自己実現を考慮し、より一層学生の進路指導に注力する必要があると考えられる。

2 学校運営

評価項目	自己評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

◆ 課題

教職員の人数も増え、教職員一人ひとりが組織の一員であることを認識する必要がある。

◆ 今後の改善方策

組織全体の目標と、個々の教職員の業務がどのように繋がっているかを明確に伝え、共感を醸成しなければならない。

3 教育活動

指 標	自己評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4

関連分野の企業・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	2
授業評価の実施・評価体制はあるか	5
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5
資格試験の指導体制はカリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4

◆ 課題

関連分野の企業や団体等との連携を深める必要がある。

◆ 今後の改善方策

学生の出口戦略を検討するにあたり、企業および業界団体との連携を強化し、外部からの進路指導が可能な体制を構築することを企図している。

4 学修成果

指 標	自己評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4

◆ 課題

本年度は、早期より学生の進路指導を開始し、個々の特性を踏まえた就職先の開拓に努めてまいりました。しかしながら、依然として学生本人の就職に対する意識が十分とは言えず、その意識改革も喫緊の課題であると認識している。

◆ 今後の改善方策

自分の強みや興味関心を深く理解するワークショップやキャリアカウンセリングを早い段階で導入し、主体的な進路選択を促す。

5 学生支援

指 標	自己評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	2
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
卒業生への支援体制はあるか	5年度末

◆ 課題

多くの学生は寮生活を送っているが、大人数の生活でやや不便な面が見られる。家庭の支援を受けずに、夜間のアルバイトをしながら、自力で生活する学生が多い。健康面には気をつけているが、睡眠不足で集中力を欠いてしまうこともあるので、いっそう注意を払って見守る必要がある。

◆ 今後の改善方策

留学生の悩みや困りごとに耳を傾け、少しでも支援できる体制を強化する。また、教職員と寮担当者との連絡を密にし、学生が安心して暮らせる環境を整備する。

4 教育環境

指 標	自己評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	2
防災に対する体制は整備されているか	4

◆ 課題

今後、インターンシップ等の機会を通じて外部機関との連携を強化し、教育体制の再構築を図る必要がある。

◆ 今後の改善方策

学生の専門分野やキャリア目標に合致する企業、団体などをリストアップし、積極的にコンタクトを取る。

7 学生の受入れ募集

指 標	自己評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学生納付金は妥当なものとなっているか	4

◆ 課題

学生募集については、これからも地道に進める必要がある。

留学生の獲得については、世界情勢の動向しだい直接的な影響を受ける可能性が高い。

◆ 今後の改善方策

オープンキャンパスや学校説明会を増やし、遠方の日本語学校にも本校の存在を知らしめるべく学生募集を行いたい。また、留学生がもっているネットワークを上手に活用して、学生の募集につなげる。

8 財務

指 標	自己評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

◆ 課題

財務状況を踏まえた予算要求をしなければならないが、施設設備の充実を早急に解決しなければならない。

◆ 今後の改善方策

学生のために施設設備の充実を目指し、要望を出したい。

9 法令等の遵守

指 標	自己評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	5

◆ 課題

自己評価に関して、項目を変えて様々な側面から学校を評価する必要がある。

◆ 今後の改善方策

まだ新しい学校なので、しばらくは自己評価の項目を変えず、同じ項目で評価を継続することによって改善の方向性を見極め、それから項目を変えて学校を様々な角度から評価したい。

10 社会貢献・地域貢献

指 標	自己評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	2

◆ 課題

経済的に困窮している留学生は、放課後・休日に決められた範囲内で一生懸命アルバイトをしている。休日にボランティアをしたい学生も自分の生活のために一生懸命働いている。そのような学生たちにボランティアに参加しないかと声をかけることは難しい。

◆ 今後の改善方策

学校の周辺に住んでいる人たちとコミュニケーションを図ることができる機会を学生たちに与えたい。

学生たちが母国について話し、文化や料理などを紹介することができるような講座を企画し、地元の人たちと少しでも触れあえる機会を学生たちに与えたい。